

身近な水環境の 全国一斉調査

●笑顔でつなぐゆたかな水辺●

第7回
調査結果概要

2010

目 次

| | |
|---|------|
| I 調査の背景 | P.1 |
| II 調査の実施手法 | P.2 |
| III 調査結果の概要 | P.3 |
| 全国一斉調査諸データの推移 | P.4 |
| 2010 全国水環境マップ 第7回 身近な水環境の全国一斉調査結果 | P.5 |
| 2004 全国水環境マップ 第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果 | P.6 |
| IV 各ブロックでの調査結果 | P.7 |
| 北海道地方 | P. 7 |
| 東北地方 | P. 8 |
| 北陸地方 | P. 9 |
| 関東地方 | P.10 |
| 中部地方 | P.11 |
| 近畿地方 | P.12 |
| 中国地方 | P.13 |
| 四国地方 | P.14 |
| 九州地方 | P.15 |
| 沖縄地方 | P.16 |
| V 一斉調査結果の活用事例紹介 | P.17 |
| VI 繼続調査参加団体 | P.19 |
| VII 全国水環境マップ実行委員会名簿 | P.20 |
| VIII 身近な水環境を調べよう！第8回「身近な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い | P.21 |
| 第8回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙 | P.22 |

「身近な水環境の全国一斉調査」とは

毎年6月に統一調査日を設け、市民団体と河川管理者などの連携により、全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を調査しているものです。

本誌は、その結果をマップとしてまとめ、参加者の皆さんのご意見を記載しています。



調査の背景

近 年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する市民の意識が高まっています。市民や学校の子どもたちによる身近な川の一斉調査は1980年代の半ばから、多摩川・荒川の流域や霞ヶ浦・琵琶湖の流域など全国各地で行われてきました。しかし、調査の方法や項目などは必ずしも統一されておらず、水質の測定精度も十分に保証されていません。このような多くの結果を有効に利用するためには統一的な調査マニュアルを作成し、測定精度の管理システムと全国各地の結果を比較できるデータベースを確立することが重要です。



多くの市民や学校の子どもたちが統一的な調査マニュアルにもとづき、身近な水環境を全国一斉に調査し、その結果をわかりやすいマップで表現することにより、全国の状況が一目でわかり、身の回りの環境に関する市民の理解と関心がさらに深まることが期待されます。そのため全国で水質調査を実践している市民団体等が国土交通省及び財団法人河川環境管理財団と連携して、全国の河川や水辺など身近な水環境の水質を一斉に調査し、全国の水環境マップを作成することにしました。

「身近な水環境の全国一斉調査」により多くの河川などで水辺の様子や水質などの現状が把握できます。一斉調査は当日の天候にも影響されますが、さらに継続して実施することにより水環境の変化やその原因などが明らかになります。市民が自ら水質を調査し、水環境の実態を明らかにすることにより、その保全と修復に関する今後の活動へ発展することが期待されます。



「身近な水環境の一斉調査」は2004年6月に開始され、7年間で延べ53,000人の市民や学校の子どもたちが参加しました。今後もこの調査を継続することで、水環境の保全に関する市民の意識が高まり、さらに多くの地点で調査が実施されることを期待しています。

目的と意義

1. 身近な水環境を簡単な方法を用い自ら調査することにより、その実態を知ることができる。
2. 統一的なマニュアルに基づき調査を行うことにより、調査結果を相互に比較する際の精度が向上する。
3. 身近な水環境の調査結果をすぐに知ることができる（行政による水質調査結果の公表はおよそ1年後である）。また、全国の結果も速報値として数か月後に知ることができる。
4. 河川などの流域で、多くの人たちが調査に参加することにより、面的につながりのある結果が得られる。
5. 同一条件で調査した身近な水環境と他の地点の結果を比較することにより、身近な水環境の状態を評価できる。
6. 身近な水環境を流域、さらに広域の環境へ結びつけ、水環境の保全を考えるきっかけとなる。
7. 水の汚れの原因を調べ、考えるきっかけとなる。
8. 汚れの原因が明らかになれば、水環境を保全・修復するために、身近にできる実践活動に結びつけることができる。
9. 調査に参加した多くの人たちと連携の意識をもつことができる。
10. 子どもたちが調査に参加することにより、100年の眼で将来に活動を引き継ぐことができる。

調査の実施手法

調査の概要

調査日：2010年6月6日(日)を中心に実施
調査者：『全国水環境マップ実行委員会(委員長:小倉紀雄・東京農工大名誉教授)』のもと、河川の水質に関心のある市民団体や学校などが参加。

調査内容・方法：調査マニュアルに基づき、気温、水温のほか、簡易測定器材でCODを測定。

調査項目

●気温・水温・試水水温

一斉調査の調査票には、現地の気温・水温・試水水温と三種類の記入欄があります。現地の気温と水温を記入することで、同一日に行なった各地の気温と水温の分布を全国規模で把握することができます。また、簡易測定器材でCODを測定するためには試水水温が重要な要素であり、試水水温を測定することで簡易測定器材の反応時間を把握して、より正確な測定を実施することができます。

●COD(化学的酸素要求量)

水質汚濁の指標の一つとして用いられます。今回の調査は簡易測定器材を用いて、同一試料を3回測定し、その中央値を採用することでより正確な測定値を得ることができます。

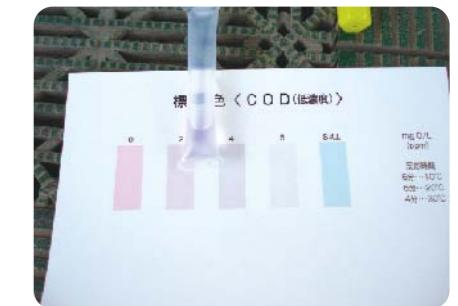
調査の手法

●採水

- ①雨天や増水などによる調査の中止も考慮し、これまでに調査継続してきた地点や新たに調査してみたい地点を決定します。調査地点を調査票に記入します。
- ②より正確なデータ測定のため、水質の時間変化を考慮し採水時間は午前中に行います。
- ③試水を入れる容器は予め良く洗って乾かし、採水地点名・記号・採水日時を明記しておきます。採水器具や試水を入れる容器は採水を行う川の水で十分に洗いします。
- ④浅く流れが穏やかな川では、川に入り川の中央で上流に向かって採水し、深い川や流れの速い川では、橋などの上からロープをつけたバケツを下ろし採水します。舞い上げられたゴミなどが混入しないよう十分注意して行います。
- ⑤調査月日・調査時刻・天気とともに、採水地点の気温と採水した試水の水温を測定し調査票に記入します。

●CODの測定

- ①試水の水温を測定し反応時間を決定します。
- ②添付の操作手順書に従い測定します。
- ③反応時間終了後ただちに標準色と比べ測定値を調査票に記入します。
- ④同じ試水で3回測定します。



調査結果の概要

多くの方の恒例イベントになりました

学校や市民団体、行政関係者など多くの方々に参加により身近な水環境について関心を持ち、調べるきっかけとなっています。

今年の参加者からのコメントで、『昨年は息子を連れて二人で川に出かけての調査でしたが、とても楽しかったと家に帰ってから息子が話をしたら、今年は一家4人で川に行き調査をしました。今後も恒例イベントとして参加したいと思います』とありました。きっと家に帰ってからも川や水辺の環境について話したことでしょう。このような広がりが全国各地でこの調査をきっかけにして起きています。



調査日 2010年6月6日(日)
参加団体数 510団体(個人参加含む)
調査地点数 2,755地点



期間 2010年5月4日～7月31日まで
参加団体数 913団体 [参考: 第1回 531団体、第2回 1,000団体、第3回 944団体、
第4回 917団体、第5回 997団体、第6回 1,011団体]
地点総数 5,909地点 [参考: 第1回 2,545地点、第2回 5,018地点、第3回
4,923地点、第4回 5,473地点、第5回 6,241地点、第6回 5,683地点]



今年度は実施しておりません。

調査のまとめ

昨年に引き続き今年も河川整備基金の助成を受け実施することができました。また、今年は調査器材についてはパックテストの製造元の(株)共立理化学研究所の協力で器材を提供していただき実施しました。昨年、多くの参加者から一部地域における測定器材の変更によりデータの継続性に対する危惧などの声があり、それらを反映した結果です。

今年の調査結果で参加者数が6,905人となっており、過去の参加人数に比べ減少しているようにみえますが、参加人数や参加者の年代を把握するための「グループ記入票」の返却率が減少したためです。原因としては、エクセルファイルによる調査結果の返送時に未記入である割合が大きいことです。調査結果返送用のファイルには「注意事項」、「グループ記入票」、「調査結果」の3枚のシートがあり、グループ記入票が見落とされることがあります。今後は別ファイルにするなど対策を検討し、調査に参加している人数の把握を十分に行い真値に近付けたいと思います。

水質調査の結果については各団体や各流域でまとめられていることと思います。全体的なCOD測定結果だけを単純に見てしまうと今年は0～3mgO/Lの水質の良い標記である青の地点が26%と少なく、水質が悪化したようにとられるかもしれません、これは前日までの天気で川の様子が普段と異なっていたり、調査地点の変更など様々な要因が考えられます。このように全国では様々な状況の調査条件である中で、統一器材・統一調査日の実施により、少しでもその精度を向上させ、比較しやすいように今後も全国水環境マップ実行委員会では参加者みなさんの意見を取り入れつつ実施してまいります。



全国一斉調査諸データの推移

作成: 全国水環境マップ実行委員会

●年別 参加団体及び調査地点数集計結果

| 都道府県番号 | 都道府県名 | 2004年 | | 2005年 | | 2006年 | | 2007年 | | 2008年 | | 2009年 | | 2010年 | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 調査団体数 | 調査地点数 |
| 1 | 北海道 | 7 | 26 | 17 | 48 | 20 | 112 | 38 | 179 | 48 | 273 | 41 | 184 | 35 | 264 |
| 2 | 青森県 | 11 | 35 | 14 | 35 | 11 | 24 | 13 | 41 | 13 | 30 | 6 | 19 | 7 | 31 |
| 3 | 岩手県 | 8 | 24 | 21 | 35 | 12 | 30 | 13 | 36 | 9 | 41 | 12 | 24 | 11 | 76 |
| 4 | 宮城県 | 5 | 58 | 11 | 95 | 17 | 122 | 8 | 96 | 7 | 92 | 13 | 110 | 7 | 70 |
| 5 | 秋田県 | 2 | 5 | 9 | 27 | 9 | 30 | 10 | 44 | 16 | 50 | 6 | 42 | 5 | 24 |
| 6 | 山形県 | 105 | 271 | 112 | 275 | 80 | 211 | 28 | 55 | 60 | 162 | 21 | 50 | 23 | 50 |
| 7 | 福島県 | 1 | 3 | 4 | 4 | 2 | 3 | 11 | 38 | 12 | 46 | 6 | 38 | 4 | 87 |
| 8 | 茨城県 | 46 | 235 | 43 | 303 | 38 | 295 | 30 | 295 | 27 | 283 | 34 | 293 | 30 | 278 |
| 9 | 栃木県 | 2 | 4 | 2 | 4 | 9 | 27 | 12 | 41 | 6 | 25 | 6 | 16 | 4 | 9 |
| 10 | 群馬県 | 2 | 2 | 10 | 39 | 9 | 36 | 8 | 23 | 6 | 48 | 9 | 54 | 6 | 51 |
| 11 | 埼玉県 | 47 | 252 | 94 | 444 | 87 | 438 | 46 | 450 | 110 | 603 | 79 | 470 | 75 | 539 |
| 12 | 千葉県 | 4 | 16 | 13 | 40 | 40 | 114 | 17 | 98 | 16 | 97 | 17 | 82 | 19 | 79 |
| 13 | 東京都 | 87 | 373 | 116 | 546 | 112 | 521 | 120 | 543 | 113 | 640 | 111 | 648 | 116 | 723 |
| 14 | 神奈川県 | 19 | 72 | 29 | 193 | 39 | 220 | 41 | 256 | 23 | 236 | 28 | 230 | 35 | 266 |
| 15 | 新潟県 | 5 | 85 | 26 | 190 | 34 | 224 | 30 | 340 | 59 | 412 | 54 | 346 | 54 | 417 |
| 16 | 富山県 | 0 | 0 | 7 | 15 | 5 | 9 | 11 | 36 | 8 | 28 | 7 | 27 | 7 | 26 |
| 17 | 石川県 | 2 | 13 | 12 | 48 | 6 | 16 | 7 | 19 | 5 | 12 | 7 | 15 | 5 | 13 |
| 18 | 福井県 | 6 | 20 | 3 | 41 | 5 | 46 | 3 | 43 | 4 | 52 | 7 | 61 | 4 | 50 |
| 19 | 山梨県 | 49 | 213 | 70 | 250 | 41 | 161 | 36 | 160 | 36 | 147 | 42 | 163 | 41 | 163 |
| 20 | 長野県 | 4 | 11 | 19 | 68 | 8 | 64 | 10 | 53 | 14 | 97 | 26 | 130 | 19 | 116 |
| 21 | 岐阜県 | 5 | 23 | 9 | 29 | 9 | 31 | 9 | 36 | 16 | 55 | 18 | 71 | 10 | 33 |
| 22 | 静岡県 | 24 | 106 | 24 | 93 | 24 | 103 | 17 | 66 | 12 | 196 | 10 | 47 | 8 | 44 |
| 23 | 愛知県 | 22 | 66 | 35 | 142 | 31 | 115 | 27 | 70 | 38 | 89 | 54 | 164 | 33 | 110 |
| 24 | 三重県 | 2 | 55 | 11 | 79 | 13 | 82 | 11 | 101 | 8 | 97 | 16 | 121 | 15 | 106 |
| 25 | 滋賀県 | 4 | 114 | 54 | 473 | 63 | 605 | 86 | 739 | 87 | 773 | 114 | 709 | 110 | 760 |
| 26 | 京都府 | 4 | 40 | 7 | 55 | 9 | 49 | 7 | 54 | 6 | 101 | 21 | 108 | 18 | 111 |
| 27 | 大阪府 | 14 | 81 | 14 | 91 | 17 | 124 | 20 | 157 | 15 | 154 | 30 | 236 | 53 | 338 |
| 28 | 兵庫県 | 2 | 13 | 19 | 65 | 23 | 84 | 22 | 82 | 17 | 78 | 32 | 98 | 33 | 129 |
| 29 | 奈良県 | 2 | 7 | 13 | 26 | 7 | 46 | 6 | 31 | 9 | 31 | 23 | 56 | 12 | 42 |
| 30 | 和歌山県 | 0 | 0 | 5 | 20 | 2 | 6 | 5 | 13 | 9 | 27 | 7 | 14 | 12 | 28 |
| 31 | 鳥取県 | 3 | 8 | 4 | 11 | 2 | 4 | 4 | 6 | 4 | 10 | 3 | 4 | 1 | 2 |
| 32 | 島根県 | 1 | 2 | 3 | 6 | 4 | 12 | 1 | 2 | 2 | 10 | 5 | 20 | 3 | 13 |
| 33 | 岡山県 | 1 | 20 | 12 | 143 | 16 | 164 | 15 | 176 | 12 | 176 | 17 | 183 | 17 | 199 |
| 34 | 広島県 | 1 | 17 | 4 | 45 | 9 | 91 | 7 | 80 | 7 | 83 | 5 | 76 | 5 | 73 |
| 35 | 山口県 | 5 | 17 | 6 | 21 | 5 | 18 | 2 | 27 | 7 | 99 | 4 | 34 | 3 | 16 |
| 36 | 徳島県 | 8 | 74 | 16 | 72 | 12 | 29 | 24 | 147 | 23 | 95 | 13 | 54 | 9 | 38 |
| 37 | 香川県 | 1 | 2 | 3 | 9 | 5 | 12 | 8 | 18 | 5 | 17 | 6 | 19 | 5 | 16 |
| 38 | 愛媛県 | 7 | 60 | 39 | 519 | 13 | 166 | 14 | 219 | 11 | 285 | 11 | 209 | 17 | 210 |
| 39 | 高知県 | 8 | 33 | 29 | 96 | 34 | 99 | 60 | 197 | 21 | 52 | 26 | 68 | 17 | 68 |
| 40 | 福岡県 | 4 | 29 | 11 | 36 | 11 | 63 | 14 | 56 | 21 | 104 | 19 | 84 | 16 | 66 |
| 41 | 佐賀県 | 0 | 0 | 33 | 123 | 32 | 110 | 33 | 124 | 37 | 120 | 37 | 112 | 26 | 82 |
| 42 | 長崎県 | 0 | 0 | 7 | 16 | 9 | 15 | 5 | 10 | 4 | 10 | 5 | 12 | 6 | 13 |
| 43 | 熊本県 | 1 | 3 | 2 | 11 | 4 | 15 | 11 | 21 | 8 | 34 | 4 | 13 | 4 | 9 |
| 44 | 大分県 | 6 | 19 | 6 | 18 | 5 | 30 | 4 | 21 | 7 | 40 | 7 | 47 | 5 | 19 |
| 45 | 宮崎県 | 8 | 34 | 8 | 44 | 8 | 44 | 8 | 43 | 4 | 39 | 3 | 33 | 2 | 7 |
| 46 | 鹿児島県 | 0 | 0 | 12 | 41 | 15 | 70 | 14 | 77 | 9 | 59 | 10 | 55 | 2 | |

2010 全国水環境マップ

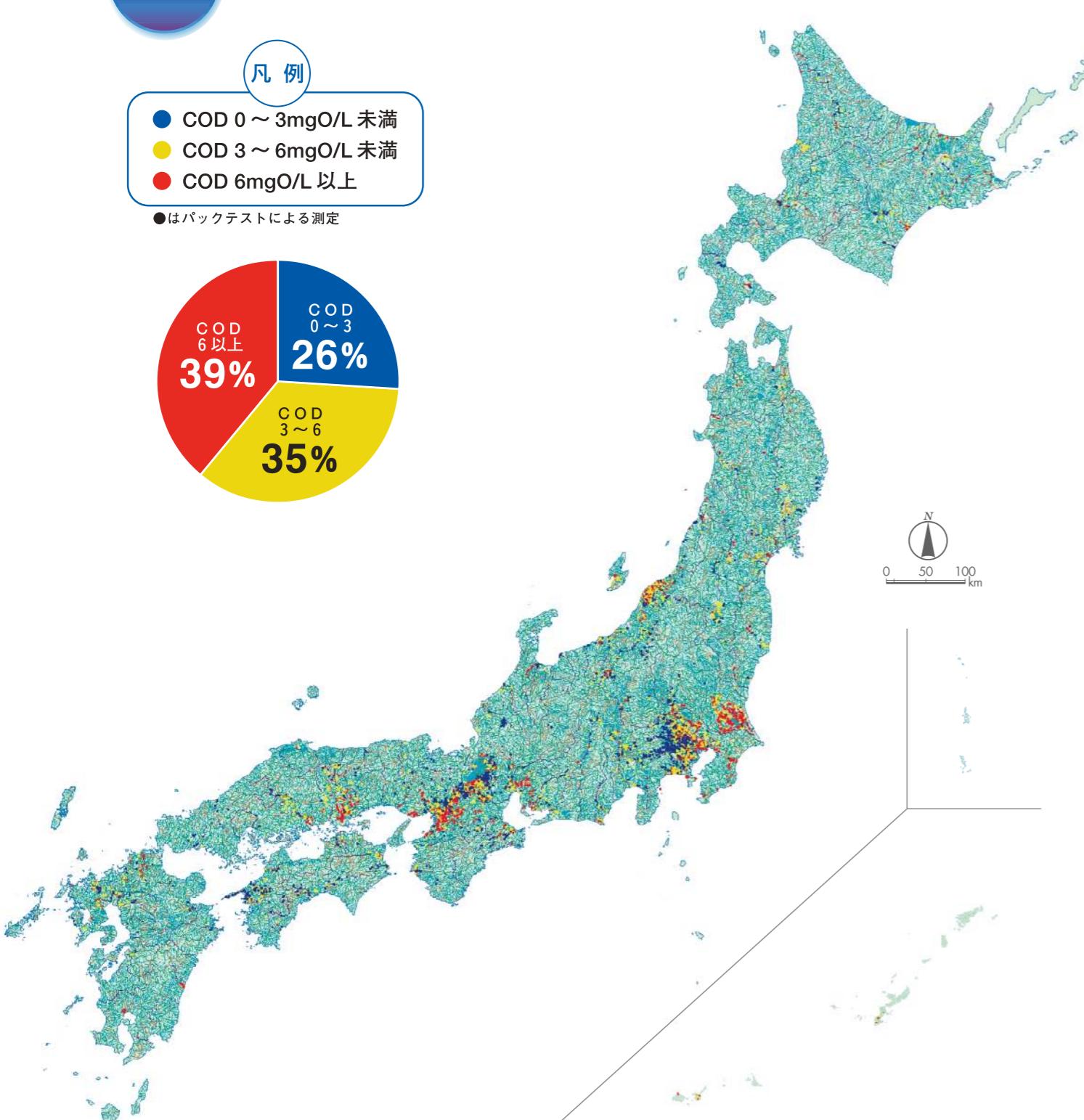
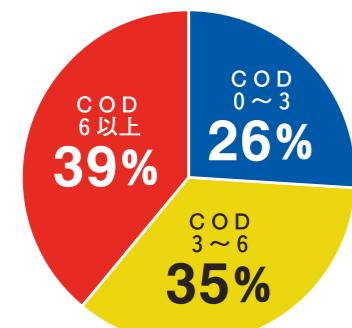


第7回 身近な水環境の全国一斉調査結果

凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

●はパックテストによる測定



2004 全国水環境マップ

第1回 身近な水環境の全国一斉調査結果
水質調査の結果と分布

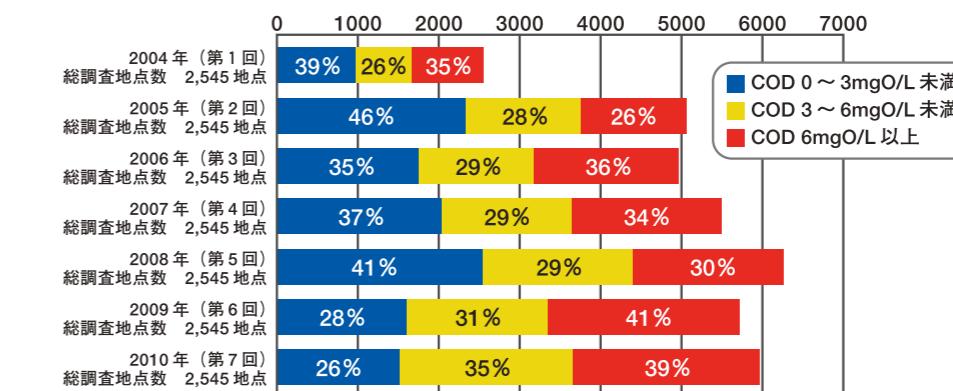
凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

●はパックテストによる測定

N
0 50 100 km

調査地点数と結果の推移

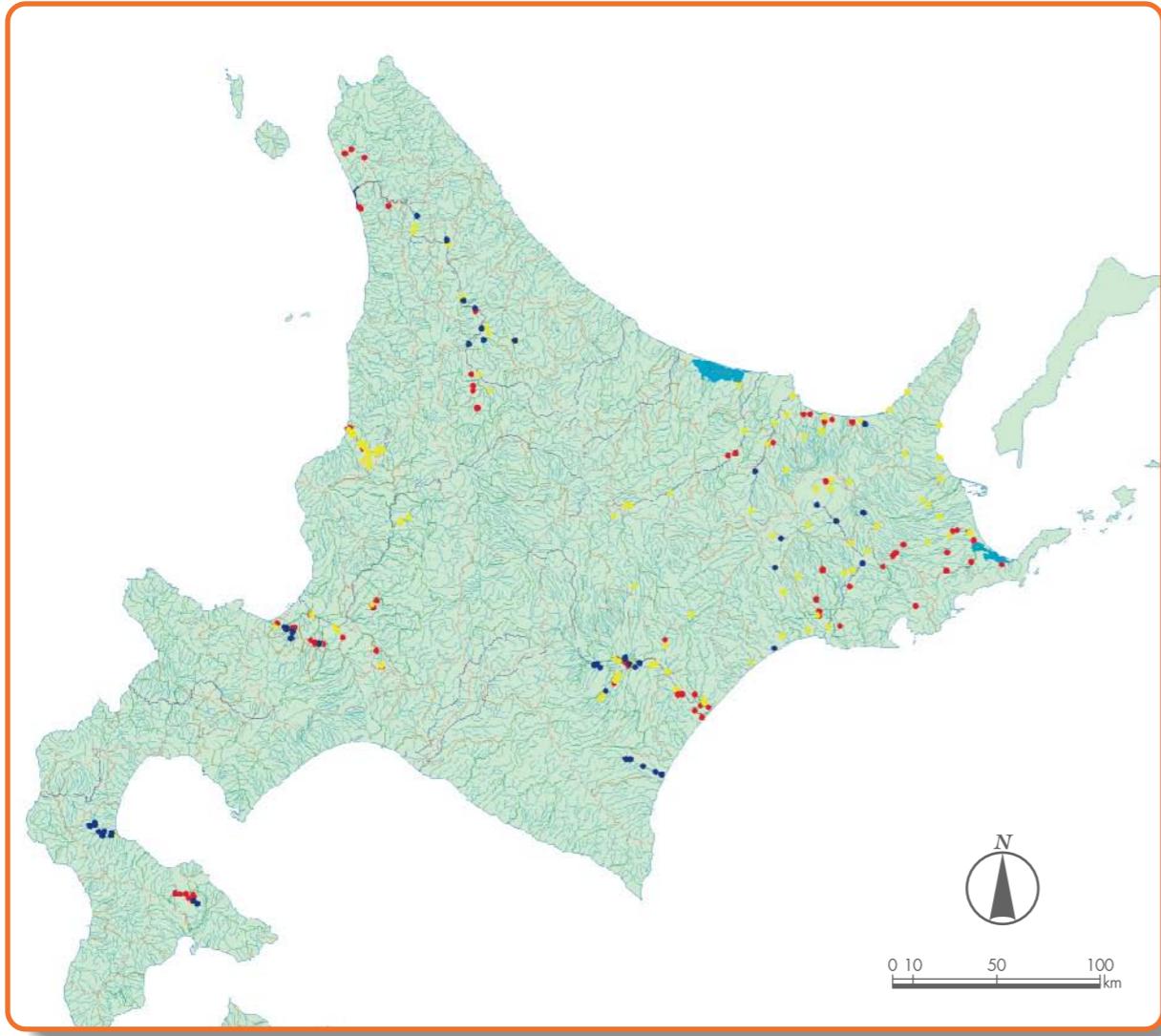


各ブロックでの調査結果

凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

北海道地方

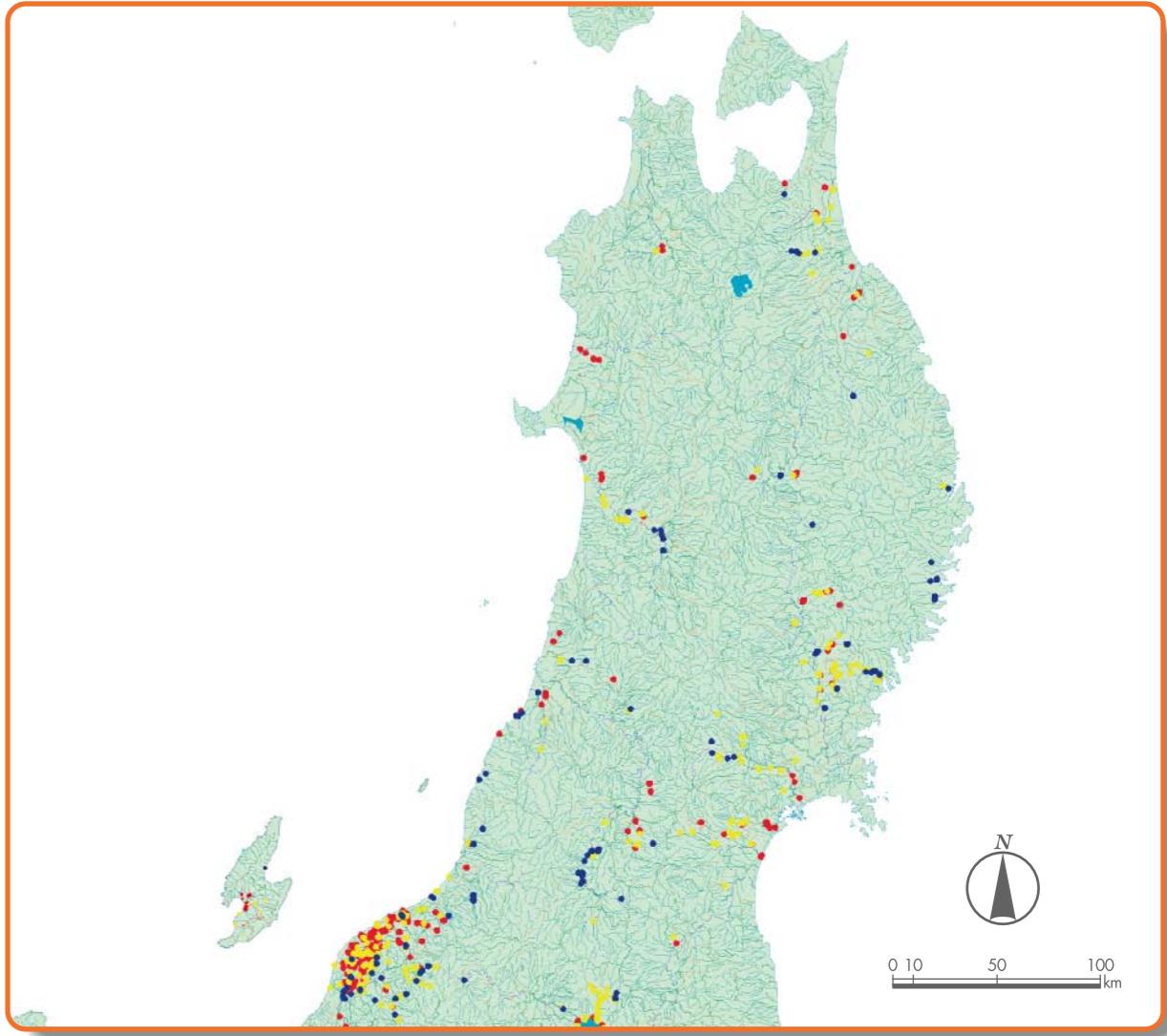


参加者からのコメント

- ・湧水が源である大島川は、釧路湿原に注いで、湿原を潤しています。川幅が1mほどで、所々に淀みが観察され川の環境は今も昔と大して変っていません。



東北地方



参加者からのコメント

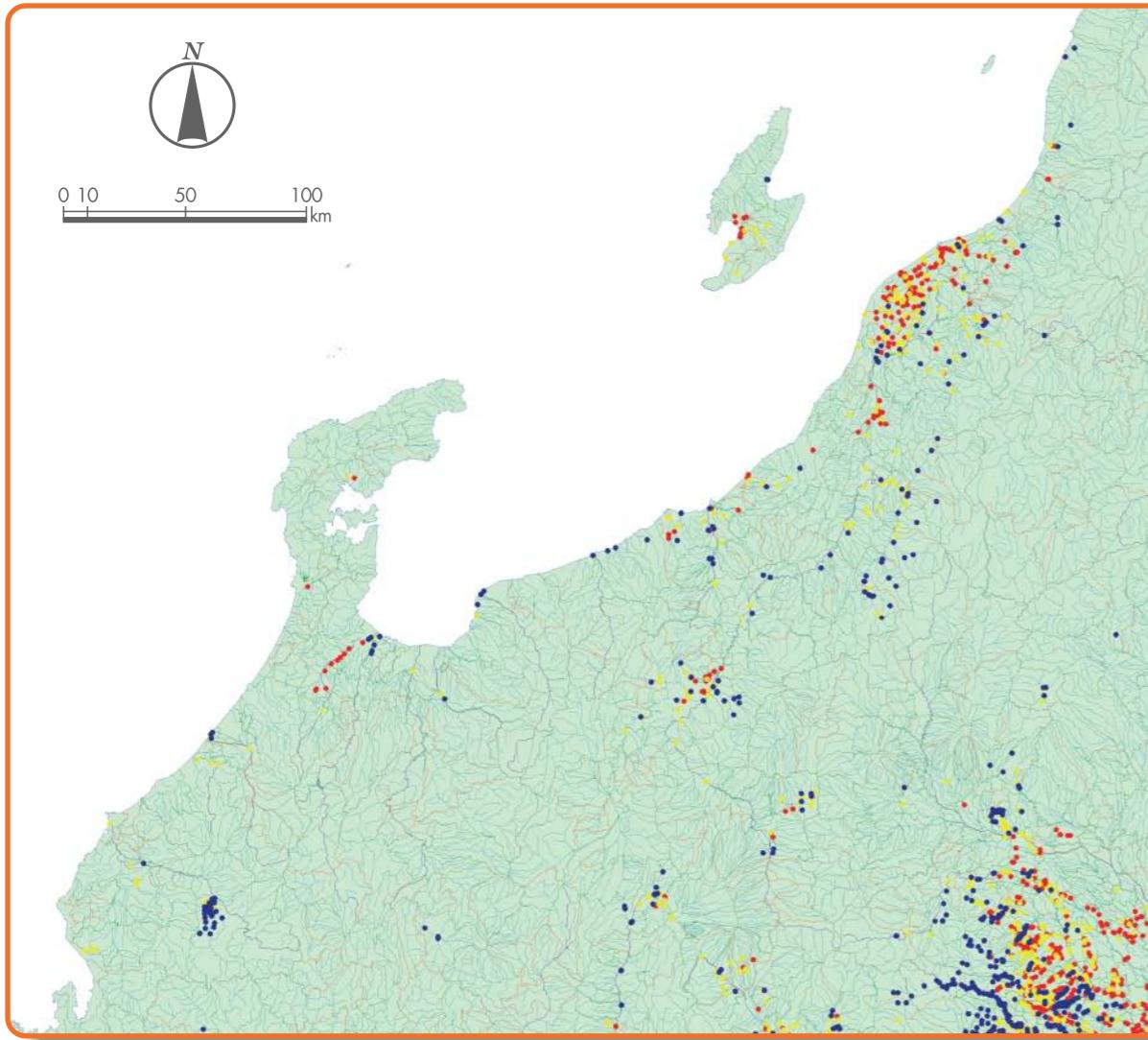
- ・川はなぜ汚れてしまうのか。川を汚さないためにどんなことができるのか。などについて考える良い機会になりました。
- ・10年近く前の河川の改修以後、市民の意識が変わり、水質アップのため運動が市民レベルの段階で始まっているようです。



凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

北陸地方

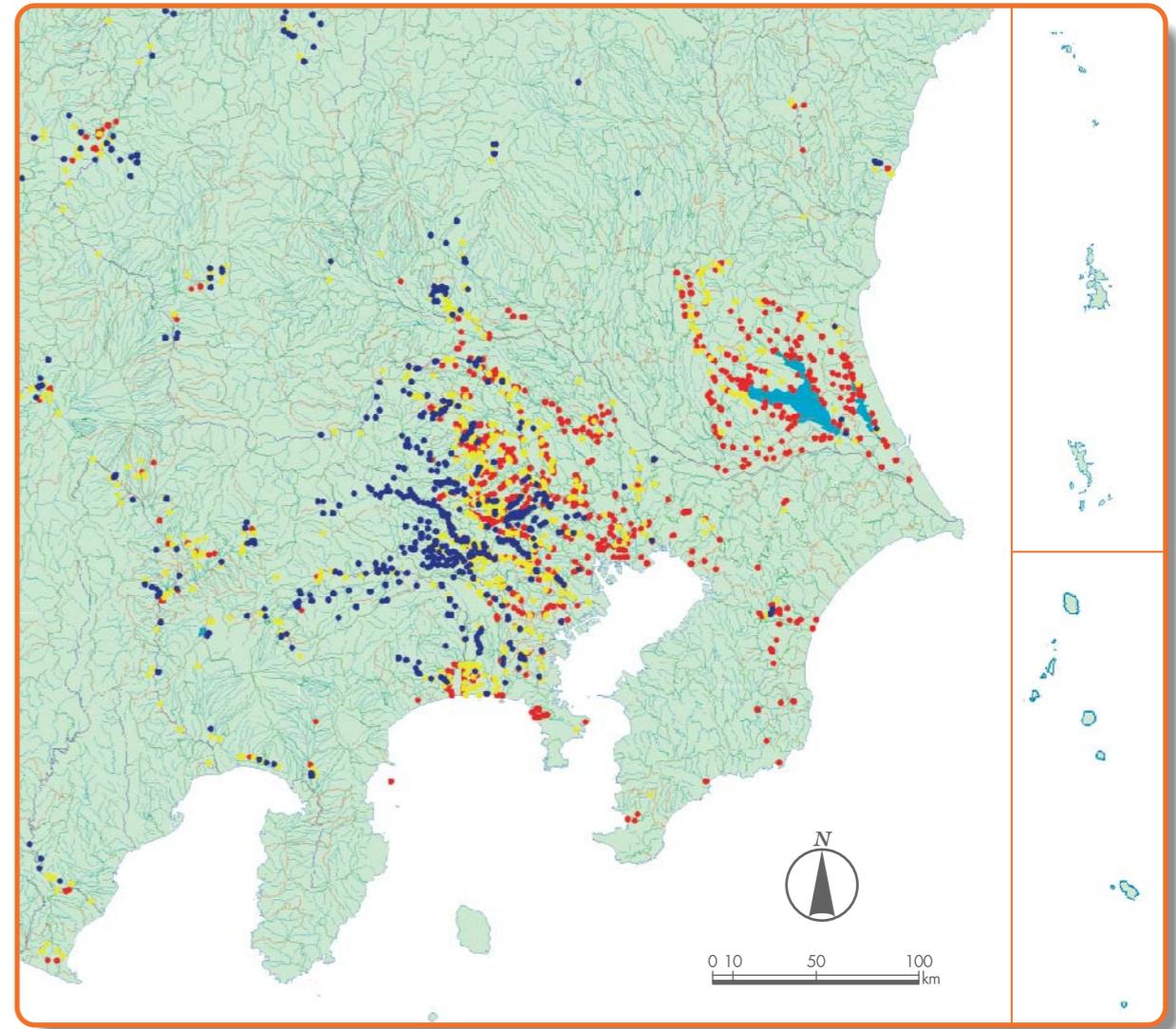


参加者からのコメント

- ・毎年の恒例行事としている。
- ・水質調査に合わせて、午後からは他の水環境調査を実施している。（今年度は、ペットボトル簡易ろ過器製作・実験）



関東地方



参加者からのコメント

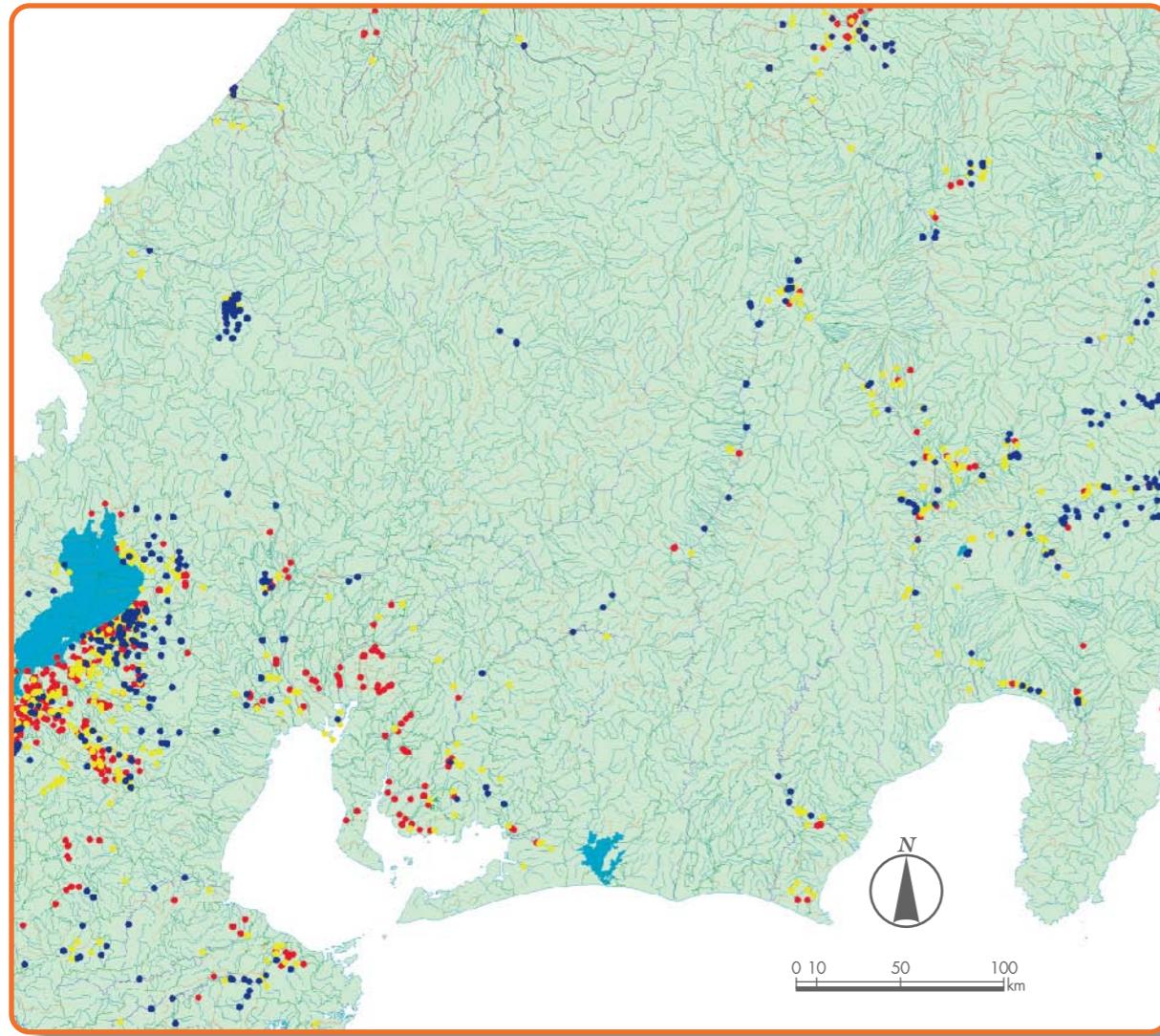
- ・鯉が多く、昔（7年前）は、おたまじやくしなどもいてもっと種類が多かったと思う。しかし、水は大変きれいになっているように思う。
- ・2004年全国一斉水質検査を開始して以来、調査地点3か所は5ppm～8ppmを示していたのが、年一度ですが水質がよくなり2006年には1～4ppmと上流が改善され2007年には1～3ppmになり喜んでいました。特に2008年には3か所が1ppmと驚くほどで流域住民の意識が高まった証しと感謝していました。2009年には下流の2か所はほとんど1ppmを示していたにもかかわらず、上流の宮西橋は5ppmに近い値を示し今回は上流は少し改善されたものの下流が4ppmを示し大変残念な結果が得られました。



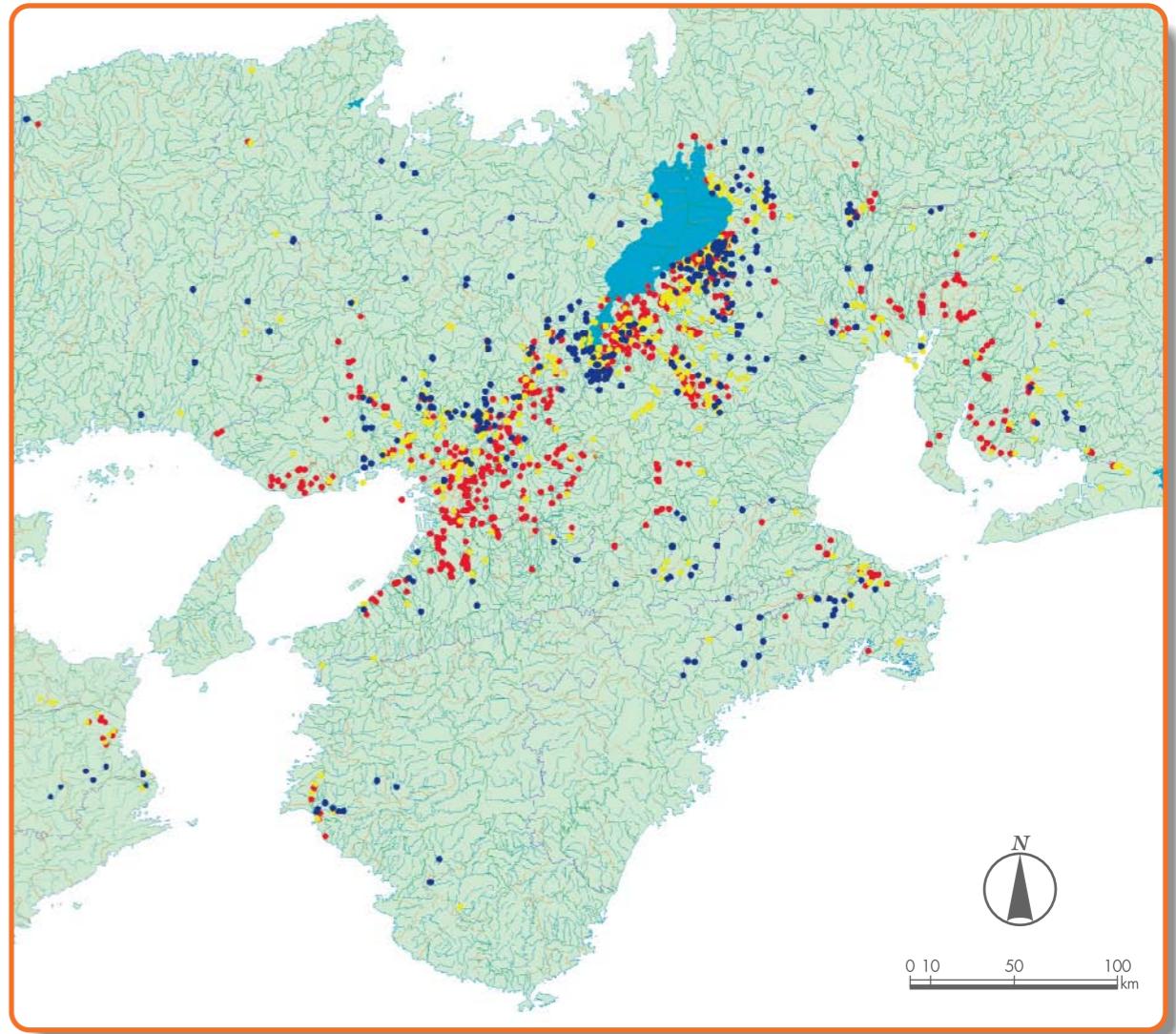
凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

中部地方



近畿地方

参加者からの
コメント

- とてもよい活動だと思いますが、こういったことしか川に行かない人もいるかと思うと寂しく思いました。子どもが川に関心を持つきっかけにはなると思いました。
- 初めて測定参加の人は、簡単にCOD測定ができるることから感動していました。

参加者からの
コメント

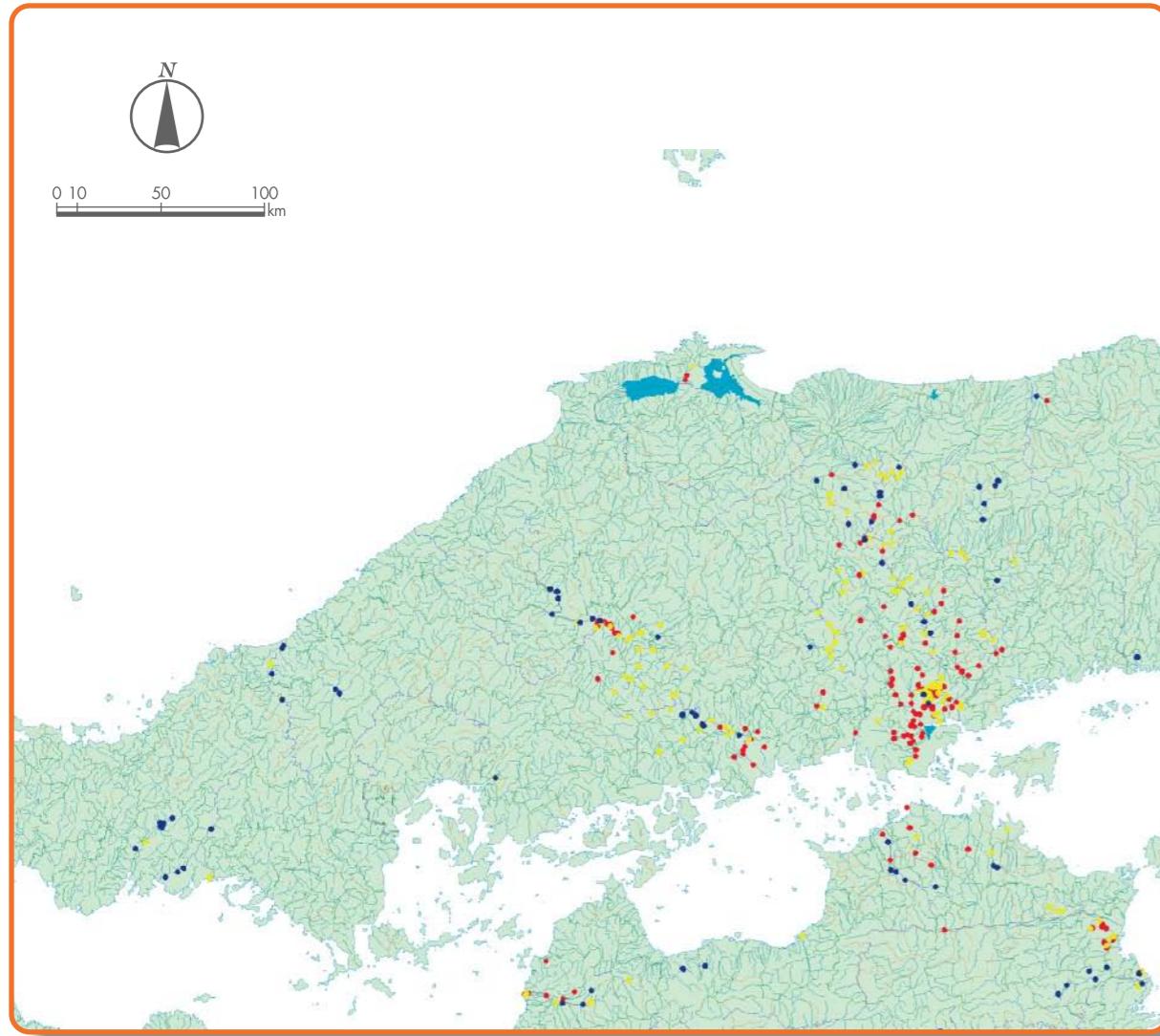
- 試薬の入ったチューブは、少々硬いのか、小学5年生の女の子では、一気に吸い込むことができませんでした。もう少し柔らかければ良かったかも知れません。
- 初めての水質調査でした。全員に試薬が行き渡らなかったのは、残念でしたが、環境に目を向けるには良い機会だったと思います。来年以降も継続して実施したいと思います。
- 子どもの水辺の環境学習として実施しました。水遊びが中心となっていましたが、水質調査の概要を知ることができました。今後ともよろしくお願いします。



凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

中国地方

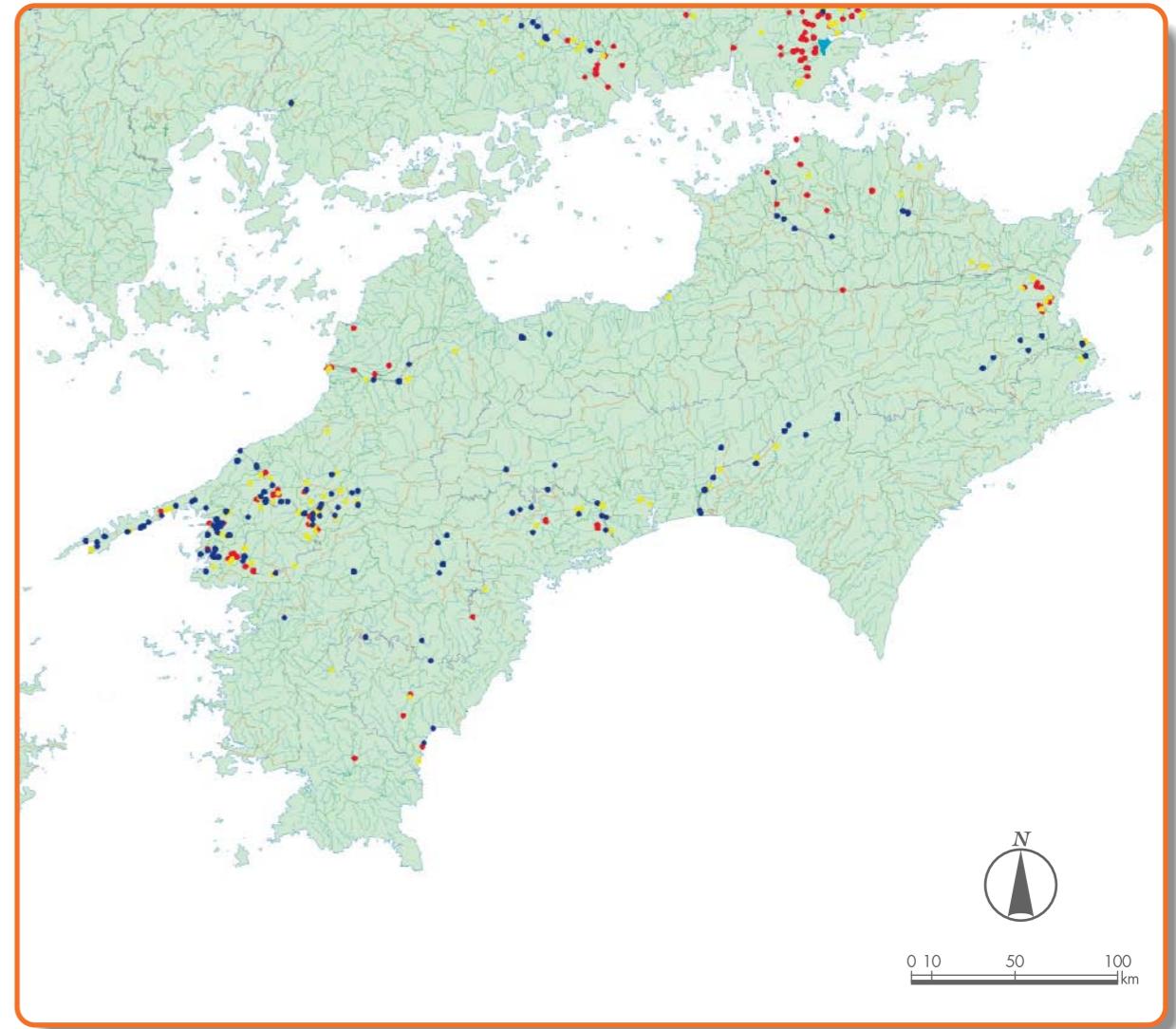


参加者からのコメント

- ・環境勉強会も同時開催しました。今後とも続けてください。
- ・市街地を流れる川のため、やはりCODの値は高めだった。しかし、支流の小川は見た目通り中でも比較的低い値だった。来年は小川の源流部の値も調査してみようと思う。



四国地方

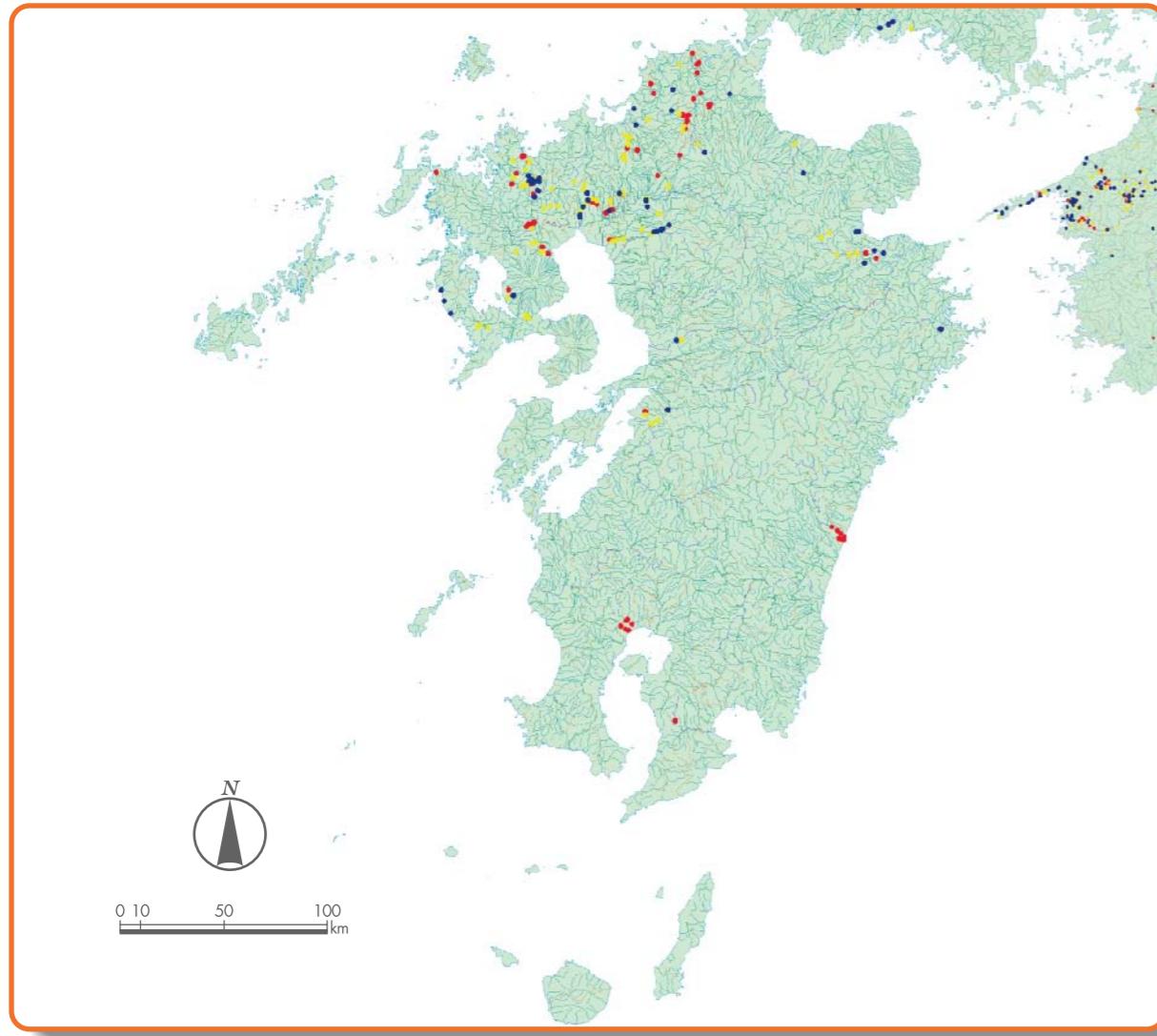


参加者からのコメント

- ・最近は周辺のゴミが散乱していて汚くなっている。気が付いたら拾っておりますが、すぐに不法投棄している不心得者が絶ちません。地元の川をもっと大切にして環境を良くする工夫が大事です。
- ・2007年、2008年、2009年(調査した年)の結果と比較検討する。
- ・水の状況を見た目ではなく、数値で評価できることがデータの蓄積につながり有意義である。



九州地方

参加者からの
コメント

- 年に一回の川の調査、子どもたちは楽しみにしています。夜には佐里温泉の調査地点に「ほたる」を見に地域の皆さんと出かけ、「ほたるがこんなにたくさんみれるとは」と、みんなびっくり。地域の皆さんと交流もできました。
- 小学生中心のメンバーで地区の人々の協力があり、元気に笑顔で毎年参加。子どもたちの貴重な体験活動となっています。
- 最近河川の環境が向上。採水のCOD数値も汚れの改善がみられ喜んでいます。



沖縄地方

参加者からの
コメント

- 6年間観察している子どもから、川の上流の値はどうなのか、や、源流を知りたいという声が出てきて継続がこのような自分たちの声になったんだとうれしい。
- きれいになったと思っていたが、値が大きくなった浦内川の理由を知りたい。



凡例

- COD 0 ~ 3mgO/L 未満
- COD 3 ~ 6mgO/L 未満
- COD 6mgO/L 以上

一斉調査結果の活用事例紹介

本調査を中心に全国各地で独自にまとめたマップや報告書、ホームページ等の取りまとめ結果が事務局に多数寄せられています。特にマップについては各地、各流域で独自のまとめ方をしており、特徴的なものが数多くありました。それらの事例を紹介いたしますので、参加した皆さんの今後の活動に役立てていただきたいと思います。

活用事例

大和川のいきもの・水質しらべ かんさつ・あそぼう会 大和川市民ネットワーク（川とあそぼう♪大和川クラブ&大和川釣り人クラブ）



全国一斉調査参加は3年目で毎年楽しみにしている子もいます。2010年は堺市立東浅香山小と新浅香山小2校の親子を中心に83人が集いました。

子どもたちは水に入って、魚やエビを見つけ、投網を見せてもらって大はしゃぎでした。中でも、ウナギのつかみどりは最高でした。“大和川つり人クラブ”のみなさんが2週間以上も前から竹筒や魚礁などのしきけをして見つけたものです。

1960年代後半あたりから、大和川は遊ぶ川ではなくなりました。「禁止されていた川に入つて遊びこと自体がうれしいのです」と、あるお父さんがニコニコしていました。

パックテストでは、まだ「8以上」という結果です。大和川がもっときれいになって、安心してあそべる川になるよう、これからも努力します！！

6年生T君の作文の一部です。

「2つ目に楽しかったことはうなぎとりです。はじめに、うなぎを10匹、川と岸の間に放流してつかまえます。中学1年生のY君がうなぎを見つけて、ぼくがあみでくいました。すると、でかいなぎがとれました。うなぎを初めてさわったから、かんしょくはぬるぬるしていてかわいいかったです。かばやきにしてたべたかったです。後で、大和川に返しました。」



↑うなぎはどこだ！！！



↑うなぎをつかまえたよ！！

※ 大和川市民ネットワークは、大和川をよくしようと努力している市民が協力連携しています。

全国一斉調査には、「秋篠川源流を愛し育てる会」や「アクアフレンズ」などの団体や個人も参加しています。

活用事例

びわ湖エコアイディア俱楽部（滋賀県草津市）

びわ湖エコアイディア俱楽部（通称 BEIC）は、パナソニック社の社員有志が運営する環境ボランティア団体です。滋賀県草津市にある同社の工場を拠点に、琵琶湖湖岸の美化活動やヨシ刈り行事への参加、こどもエコクラブ「アイキッズ」の運営など、地域に密着したボランティア活動を行っています。

「身近な水環境の全国一斉調査」への参加には、BEIC会員に限らず関連団体やパナソニック社環境保全推進ネットワーク（通称 BYOS）に呼びかけ、多くの方に調査に参加（13府県、94河川、130地点）していただきました。参加者から寄せられた調査結果や写真、感想をブログで発表しています。また、それらをまとめたオリジナル水環境マップを作りHPに公開しています。

一人一人が水環境について考えるこの活動が更に広くつながり、私達にとって水辺がもっともっと身近なものとなっていく。そうありたいと願っています。



ブログ



BEIC・BYOS 水環境マップ 2010



BEIC ブログ <http://blog.canpan.info/biwakoecoidea/>

水環境マップ <http://panasonic.co.jp/cca/environment/activities/water/index.html>

継続調査参加団体

身近な水環境の全国一斎調査は今年で7年目となりました。本当に多くの方にご協力いただき実施をしています。また、全国各地数多くの市民団体や行政関係者、学校関係者にご参加いただき実施しています。この調査の目的と意義にもありますように市民モニタリングは継続して実施することにその重要性があります。そこで、継続してご参加していただいた団体についてこの場を借りて発表いたします。今後はより多くの皆さんのが地域の環境保全のためのモニタリングを行い、本調査にご参加いただくことをお願い申し上げます。



| 7年参加(結果提出)団体 (合計114団体) | | | | |
|------------------------|------------------|-----|-------------------------|--|
| 北海道 | NPO法人十勝多自然ネット | 東京都 | 八王子市北部環境保全推進地区市民会議 | |
| 青森県 | 南部ふるさとの川連携協議会 | 東京都 | 個人参加 | |
| 青森県 | 八戸市立島中学校 | 東京都 | 日野市消費者運動連絡会 | |
| 岩手県 | 日野沢自然クラブ | 東京都 | 八王子市環境市民会議 | |
| 宮城県 | NPO法人宮城県河川環境研究会 | 東京都 | 東京都市岳連盟自然保護委員会 | |
| 宮城県 | 自然塾カワセミクラブ | 東京都 | 浅川勉強会 | |
| 宮城県 | みやぎ生活協同組合 | 東京都 | 八王子市西部地区環境市民会議「水部会」 | |
| 山形県 | 美しい山形・最上川フォーラム | 東京都 | エコネット町田 | |
| 山形県 | 日本環境科学株式会社 | 東京都 | はむらと緑の会 | |
| 茨城県 | (社)霞ヶ浦市民協会 | 東京都 | 環境・国際研究会 | |
| 茨城県 | 石岡市 | 東京都 | 玉川上水ネット | |
| 茨城県 | 牛久市 | 東京都 | 東都生活協同組合 | |
| 茨城県 | つくば市 | 東京都 | 府中かんきょう市民の会 | |
| 茨城県 | 鹿嶋市 | 東京都 | あおばく・川を楽しむ会 | |
| 茨城県 | かみがうら市 | 東京都 | 水の読書会 | |
| 茨城県 | 茨城町 | 東京都 | 国分寺みっこクラブ | |
| 茨城県 | 小美玉市 | 東京都 | AM R | |
| 茨城県 | 笠間市 | 東京都 | 東京環境工科専門学校 増穂班・増穂西小 | |
| 茨城県 | 鉢田市 | 東京都 | NPO法人 芦川クリーンエイド・フォーラム | |
| 茨城県 | 神栖市 | 東京都 | 綾川を豊かな環境にする会 | |
| 茨城県 | 行方市 | 東京都 | あらわエコフレンド | |
| 茨城県 | 美浦村 | 東京都 | 足立区荒川ビジャーセンター | |
| 茨城県 | 阿見町 | 東京都 | 林・宮島ファミリーズ | |
| 茨城県 | 河内町 | 東京都 | いたばし野鳥クラブ | |
| 茨城県 | 利根町 | 東京都 | 北区水辺の会 | |
| 埼玉県 | 新河岸川水系水環境連絡会 | 東京都 | 秋が瀬にワンドを作る会 | |
| 埼玉県 | 武藏村山市環境を考える市民の会 | 東京都 | 小金井クリーン野川研究会 | |
| 埼玉県 | 北川かっぱの会 | 東京都 | 東京都市小堀研究室 | |
| 埼玉県 | 東久留米ほどじょうを守る会 | 東京都 | まちアートの会 | |
| 埼玉県 | 東久留米ホタルを呼びもどす会 | 東京都 | 鶴見川・水質チーム | |
| 埼玉県 | 新潟の自然と暮らしを守る市民の会 | 新潟県 | NPO法人新潟水辺の会 | |
| 埼玉県 | 不老川流域川づくり市民の会 | 新潟県 | NPO法人もっとわくー福島潟 | |
| 埼玉県 | 環境白門会 | 福井県 | 大野の水環境ネットワーク | |
| 埼玉県 | 生きるクラブ生協狭山支部 | 山梨県 | Y a m a n a s h i みずネット | |
| 埼玉県 | 和光自然環境を守る会 | 山梨県 | 甲府市二丁目第三自治会 | |
| 埼玉県 | 川づくり清瀬の会 | 山梨県 | 三井(深沢) ファミリー | |
| 埼玉県 | 生活クラブ生協所沢南支部 | 山梨県 | 樹形明日の環境を考える会 | |
| 埼玉県 | 生活クラブ生協所沢北支部 | 山梨県 | 大泉・水と緑を守る会 | |
| 埼玉県 | NPO法人 エコシティ志木 | 山梨県 | 奥野田小学校 | |
| 埼玉県 | 所沢源流の会 | 山梨県 | メダカラブ | |
| 埼玉県 | 自子川源流・水辺の会 | 長野県 | 諏訪湖クラブ | |
| 埼玉県 | 生活クラブ生協所沢東支部 | 静岡県 | 三島ゆうすい会 | |
| 埼玉県 | 埼玉西部・土と水と空気を守る会 | 静岡県 | 浜岡自然愛好会 | |
| 埼玉県 | 西東京生活者ネットワーク | 愛知県 | 庄内川並木づくり隊 | |
| 埼玉県 | 自由学園 | 愛知県 | 木曾三川・自然再生グループ | |
| 埼玉県 | ふじみ環境クラブ | 愛知県 | 大山川を愛する市民の会 | |
| 埼玉県 | 明治中学校・高校 | 三重県 | 宮川流域ネットサンス協議会 | |
| 埼玉県 | 東川を愛する会 | 滋賀県 | NPO法人ひわこ豊穣の郷 | |
| 埼玉県 | NPO法人 荒川流域ネットワーク | 京都府 | 京都生協相談行政区環境委員会 | |
| 東京都 | 浅川流域市民フォーラム | 大阪府 | (財)琵琶湖・淀川水質保全機構 | |
| 東京都 | 八王子ランドマーク研究会 | 岡山県 | 旭川流域ネットワーク | |
| 東京都 | 八王子中央地区環境市民会議 | 山口県 | 山口市立大殿中学校 | |
| 東京都 | 谷地川探検隊 | 徳島県 | 徳島市市民環境部環境保全課 | |
| 東京都 | 八王子に清流を取り戻す市民の会 | 徳島県 | ガールスカウト徳島第7団 | |
| 東京都 | 日野市環境共生部 緑と清流課 | 徳島県 | ガールスカウト徳島第7団 | |
| 東京都 | 八王子市東南部環境市民の会 | 高知県 | NPO法人仁淀川お宝探偵団 | |
| 東京都 | 程久保川を考える会 | 沖縄県 | リュウキュウアユを蘇生させる会 | |

*連続の有無にかかわらず6年調査に参加した団体です。

*個人参加の方について、掲載許可をいただいた方のお名前はそのまま載せています。

全国水環境マップ 実行委員会名簿

実行委員

| 氏名 | 役割 | 団体名 | 都道府県 | T E L | E-mail |
|-------|-------|----------------------|------|---------------|--------------------------------|
| 小倉 紀雄 | 実行委員長 | みずとみどり研究会 | 東京都 | 042-327-3169 | mizutomidoriken@ybb.ne.jp |
| 野村 直也 | 実行委員 | NPO法人十勝多自然ネット | 北海道 | 0155-22-7511 | nomura_n@arc-corporation.co.jp |
| 綿引 将康 | 実行委員 | NPO法人天塩川リバーネット21 | 北海道 | 01654-9-6711 | revernet21@ace.ocn.ne.jp |
| 金子 博 | 実行委員 | NPO法人パートナーシップオフィス | 山形県 | 0234-26-2381 | npo-po@nifty.com |
| 沼澤 篤 | 実行委員 | 社団法人霞ヶ浦市民協会 | 茨城県 | 029-835-2252 | kca@cg.mbn.or.jp |
| 大熊 勝 | 実行委員 | NPO法人荒川流域ネットワーク | 埼玉県 | 048-449-0055 | suishitsu@ara-river-net.jp |
| 大野 和広 | 実行委員 | 新河岸川水系水環境連絡会 | 埼玉県 | 048-466-0916 | y.fujii@guitar.ocn.ne.jp |
| 倉 宗司 | 実行委員 | 身近な川の一斎調査実行委員会 | 東京都 | 042-562-8863 | sakkoganeikura@yahoo.co.jp |
| 石田 幸彦 | 実行委員 | 浅川流域市民フォーラム | 東京都 | 042-621-1779 | CBB00853@nifty.com |
| 佐藤 正兵 | 実行委員 | NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラム | 東京都 | 03-3654-7240 | renraku@cleanaid.jp |
| 加藤 功 | 実行委員 | NPO法人新潟水辺の会 | 新潟県 | 025-230-3910 | ecoline@mvd.biglobe.ne.jp |
| 風間ふたば | 実行委員 | Yamanashi みずネット | 山梨県 | 055-220-8193 | kagerou@ymizunet.org |
| 沖野外輝夫 | 実行委員 | 諏訪湖クラブ | 長野県 | 0266-58-0490 | okinosw@po2.lcv.ne.jp |
| 北田 俊夫 | 実行委員 | NPO法人びわこ豊穣の郷 | 滋賀県 | 077-583-8686 | houjyou@lake-biwa.net |
| 山崎 久勝 | 実行委員 | NPO法人蒲生野考現倶楽部 | 滋賀県 | 090-7240-4675 | |
| 今井 崇 | 実行委員 | 財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構 | 大阪府 | 06-6920-3035 | hozenkiko@byq.or.jp |
| 池田 満之 | 実行委員 | 旭川流域ネットワーク | 岡山県 | | okakawa2@yahoo.co.jp |
| 生野 宣宏 | 実行委員 | NPO法人仁淀川お宝探偵団 | 高知県 | 088-892-5050 | ngckk745@ybb.ne.jp |
| 大西 正國 | 実行委員 | NPO法人大淀川流域ネットワーク | 宮崎県 | 0985-20-2377 | ooyodogawa@ace.ocn.ne.jp |
| 小野 朋典 | 実行委員 | リュウキュウアユを蘇生させる会 | 沖縄県 | 090-1361-1847 | jim@ryukyu-ayu.com |

事務局

| 氏名 |
|-------|
| 高橋 克彦 |
| 菅谷 輝美 |
| 本間 君枝 |
| 佐山 公一 |

オブザーバー



身边な水環境を調べよう！

第8回「身边な水環境の全国一斉調査」参加のお誘い



次回調査の
予定

2011年6月5日（日）を統一調査日として、第8回の全国一斉調査の実施を予定しています。後日、今回ご参加いただいたみなさんに実施の案内をお送りしますのでよろしくお願ひいたします。

小倉 紀雄 全国水環境マップ実行委員会 実行委員長

日頃、親しんでいる身边な水環境は簡単な方法で調べることができます。

「身边な水環境の全国一斉調査」は市民グループと河川管理者などと連携し、実施しています。本調査は、統一した調査マニュアルと簡単なキット（無償で配布）を用い、全国で一斉に行います。

調査結果をわかりやすいマップとして表現することで、身边な水環境の様子が良くわかります。この調査を通して水環境に関する市民の理解と関心が、いっそう高まることも期待されます。

詳細な調査結果は、本調査専用ホームページ（URL <http://www.japan-mizumap.org/>）や国土交通省河川局のホームページで公表されています。

日 時 2011年6月5日（日）世界環境デー（環境の日）に近い日曜日

測定項目 気温、水温、COD、その他

測定方法 調査マニュアル、調査キットに基づき測定（※1）

参加申込と締め切り 専用ホームページダウンロードまたはP.22の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、下記の連絡事務局（みすとみどり研究会）に、2011年3月11日までにご送付下さい。

なお、ご記入いただいた個人情報は今回の調査に関する連絡以外に、ご本人の許可なく使用いたしません。

参加申込された団体はホームページで公表させていただきます。

事務局からのお願い

申込後、お手元に水質調査キット類が届きましたら、必ず内容をご確認ください。

※1 調査キットは、参加申込者に2011年5月頃に配布予定です。

もう一度見直そう！ 市民による環境調査について

本調査の実行委員長であり、市民環境科学の提唱者でもある小倉紀雄・東京農工大名誉教授は、この調査の意義を、「市民が身边な水環境を自ら調べ、得られた結果を整理し実態を明らかにする。それらの活動を通じ、身边な環境から地球規模の環境まで広く考え、問題解決のための実践活動に結びつけること」と定義付けています。

市民環境科学の意義は、次のようなことです。

- (1) 身近な環境を自ら調べ、その実態を認識すること。
- (2) 環境を監視（モニタリング）すること。
- (3) 新しい発見につなげること。
- (4) 地域の環境から地球規模の環境を考え、よりよい環境とかけがえのない地球を守る意識を持つこと。
- (5) 環境問題を広く考え、その解決のための実践に結びつけること。

本調査は、市民の手によるモニタリング調査で、簡易測定器材によるものであってもマニュアルに沿った手法で精度を管理し、継続的に調査をすることで調査地点や時期の限られている行政データを十分に補完できるものです。

これまで6回の全国調査は公民の連携パートナーシップですすめられてきました。今後も100年の眼で私たちの力で身边な水環境の調査活動を展開していきましょう。

参考文献：市民環境科学への招待（蒙華房、2003）

問合せ先

○事務局

みすとみどり研究会気付（申込・問合せ）

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

TEL/FAX:042-327-3169 E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

全国一斉調査 お申し込み先

FAX : 042-327-3169 E-mail : mizutomidoriken@ybb.ne.jp

第8回 身近な水環境の全国一斉調査 参加申し込み用紙

参加申し込み用紙はホームページ（<http://www.japan-mizumap.org/>）からもダウンロードできます。

2011年3月10日までに必ずE-mailまたはFAXでお知らせ下さい。

■これまでに全国一斉調査に参加したことはありますか

過去の参加あり

初めて

■参加グループ名

以前の全国一斉調査に参加された方でグループ名の変更がある場合には昨年の登録名もお書き下さい。団体名が異なると経年データとして結果が反映されません。

参加グループ名（個人参加の場合は参加者氏名、ただし個人情報保護の関係で個人名の公表は致しません）

変更前のグループ名

■参加グループの連絡責任者（個人参加の場合はご記入の必要はありません）

住所 :

電話

FAX

E-mail

■調査予定地点名 河川名など 例) ○○県 ○○川、××用水路、△△池。

■河川以外の水路・水辺等で調査を実施しますか

河川以外の水路・水辺（農業用水路、ため池等）で行う調査地点がある場合には、原則として水路・水辺等の管理者や所有者の許可を得ることが必要となります。「はい」とお答えの方は別添「河川以外の調査了解調査票」にご記入の上、事務局に申し込み用紙と一緒にご提出ください。（専用HP上の詳細マニュアルの注意事項を参照してください。）

はい

いいえ

■調査予定日 ただし、結果の返送締め切り日(6月末日)よりも前に実施してください。

6月5日に実施する

6月5日に実施できない【その場合の予定

月 日】

■調査予定地点数 水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください。

地點 (水質調査キットの事前準備のため、必ずお書きください)

■今後の連絡手段

今後のご連絡についてはEメールを中心に行わせていただきます。Eメールをお使いでない方は、ご希望の連絡手段を、以下にチェックして下さい。

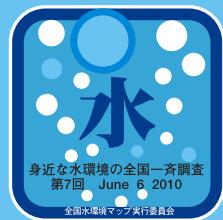
FAX

郵便物など

電話

■参加申し込みの確認はホームページ(<http://www.japan-mizumap.org/>)でできます。

※調査の風景などの写真送付にご協力ください。お送りいただいた写真はパンフレットやホームページに使用させていただきます。



事務局

みずとみどり研究会 気付（申込・問合わせ）

〒185-0021 東京都国分寺市南町2-1-28 飯塚ビル202

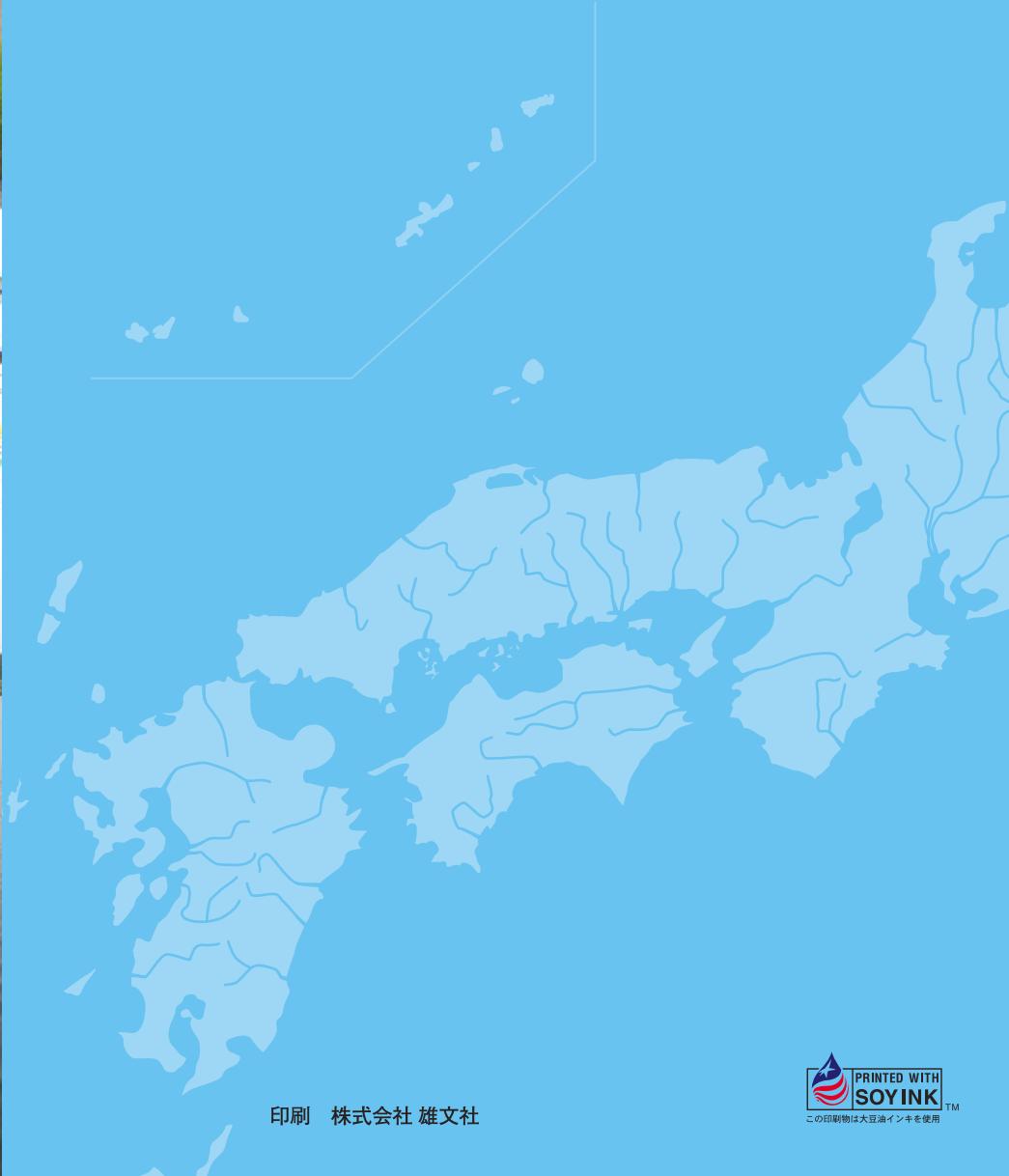
TEL/FAX:042-327-3169

E-mail:mizutomidoriken@ybb.ne.jp

URL:<http://www.japan-mizumap.org>

2010年12月発行

発行部数 7,000部



印刷 株式会社 雄文社



この印刷物は大豆油インキを使用